

# 1. 新図書館の蔵書数及び延床面積(全体像)

## (1)新図書館蔵書数(試案)について

### ①現状

(令和4年度実績)

	開架	閉架等	合計	利用人数	貸出冊数
柴田町図書館	34,143 冊	5,574 冊	39,717 冊	19,996 人	99,864 冊
槻木分室	13,646 冊	—	13,646 冊	2,903 人	11,047 冊
合計			53,363 冊	22,899 人	110,911 冊

### ②目標値

宮城県内の公共図書館における、一人当たりの蔵書冊数は、平均で 2.50 冊となっている。柴田町は 1.67 冊であり、新図書館の蔵書数は、町全体で県平均を達成できる **80,000 冊** を目標とする。

$$* \text{柴田町の人口 } 36,000 \text{ 人} \times \text{県平均 } 2.50 \text{ 冊} = 90,000 \text{ 冊}$$

$$90,000 \text{ 冊} - \text{槻木分室蔵書 } 13,000 \text{ 冊} = 77,000 \text{ 冊} \approx \mathbf{80,000 \text{ 冊}}$$

## (2)新図書館面積(試案)について

### ①蔵書内訳

図書館全体	80,000 冊
開架	50,000 冊
一般書	30,000 冊
児童書・絵本	20,000 冊
閉架	30,000 冊

#### 資料構成比率

- ・開架：閉架 = 6 : 4
- ・一般書：児童書 = 6 : 4
- ・児童書：絵本 = 1 : 1

### ②必要面積の試算

#### 【開架スペース】

開架に必要な面積			書架面積 合計	閲覧席等	その他	合計
一般書	児童書	絵本				
138.89 m <sup>2</sup>	62.5 m <sup>2</sup>	74.07 m <sup>2</sup>	275.46 m <sup>2</sup>	230 m <sup>2</sup>	336 m <sup>2</sup>	841.46 m <sup>2</sup>

※書架間隔 1,800mm 書架段数 5 段の場合の 1 m<sup>2</sup>当りの収容冊数：216 冊/m<sup>2</sup>を適用

閲覧席等：新聞雑誌コーナー、読み聞かせコーナー、調べ学習室含む

その他：通路、カウンター等含む（開架室全体の 40%）

## 【全体スペース】

想定される 延床面積	開架	閉架書庫	エントランス ・研修室等	管理部門	冊/m <sup>2</sup>
1,500 m <sup>2</sup>	841 m <sup>2</sup>	150 m <sup>2</sup>	377 m <sup>2</sup>	132 m <sup>2</sup>	53.33
1,400 m <sup>2</sup>	800 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	377 m <sup>2</sup>	123 m <sup>2</sup>	57.14
1,300 m <sup>2</sup>	780 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	300 m <sup>2</sup>	120 m <sup>2</sup>	61.54
1,200 m <sup>2</sup>	710 m <sup>2</sup>	80 m <sup>2</sup>	300 m <sup>2</sup>	110 m <sup>2</sup>	66.67

## ※参考①

〈メーカーカタログ参考〉

書架1段の収容冊数（棚幅900mm）		複式書架1台の収容冊数	
一般書	35冊	5段	350冊
		6段	420冊
児童書	45冊	3段	270冊
		4段	360冊
絵本	60冊	2段	240冊
書架間隔			
開架	1,800mm	人と車いすがすれ違うことができる幅	
閉架	1,350mm	（固定書架の場合）	

## ※参考②

余裕のある図書館を作るために必要な面積の目安		
図書館全体	50冊/m <sup>2</sup>	
書架スペース	180～200冊/m <sup>2</sup>	

## (3)現在の図書館の概要(令和4年度)

## ①町内登録者数、来館者数

登録者総数	登録率 (R5.3末現在)	来館者数	資料貸出数
10,394人	28.2%	36,052人 (柴田町図書館 31,487人) (槻木分室 4,565人)	110,911冊

## ②職員数

		現在
①司書	正規職員	3人
	任期付職員	3人
	会計年度任用職員	3人
②事務職員	正規職員	2人（うち兼務1人）

